

2023. 2. 23

武器見本市中止を

東京・渋谷八チ公前 宗教者ら宣伝

日本政府の後援で開催される武器見本市を中止させようと宗教者らは22日、東京・渋谷の八チ公前で宣伝しました。「平和をつくり

出す宗教者ネット」や「平和を実現するキリスト者ネット」らが呼びかけ、「安保関連法に反対するママの会@



宣伝する宗教者や「安保関連法に反対するママの会@ちば」などの人たち。22日、東京都渋谷区

ちば」などが共催し、約30人が参加。「武力で平和はつukれない」「戦争の準備より平和の準備を」と訴えました。

見本市は3月に千葉県幕張メッセで行われる予定です。

参加者は横断幕を掲げたり、歌をうたったりするなど通行人の視線を集めました。スマホで撮影する人や、手を振って応じる人がいました。

仕事終わりに駆け付けたママの会のメンバー

「の一人は、公共の施設である幕張メッセで見本市を行うということは「私たちが武器の拡散に加担することにつながる」と指摘。

「日本国憲法では世界の平和を不断の努力で実現させることをうたっている。武器の輸出や見本市はその理念に反する」と訴えました。

キリスト教徒の男性は、戦争は天から降ってくるものではなく着々と準備され始まるものだとし、「日本は危険な道に進もうとしている」と強調しました。

仏教徒の藤井章さんは、戦渦にいる母子と幼いきょうだいを木炭で描いた自作のプラカードを持ちます。「もうけたいという欲望で、子どもの命まで奪うのが戦争。そんな産業はありえない」と指摘します。

川崎市から参加した加藤素子さんは軍拡に進む政府を批判し「声を上げられるときに、上げなきゃ」と言います。